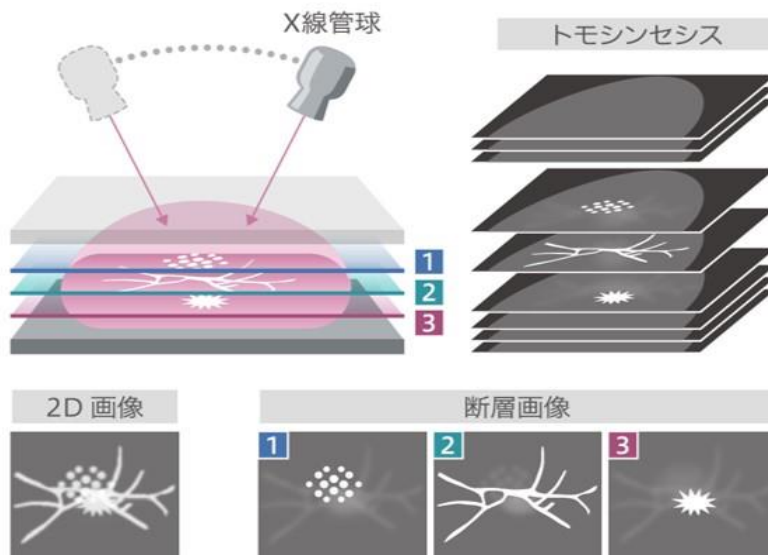


3D マンモグラフィ（トモシンセシス）とは…

3D マンモグラフィ(トモシンセシス)とは、Tomography(断層)と Synthesis(統合・合成)からの造語であり、X線管を移動させながら複数回撮影し、異なる断層を得る検査です。

2D マンモグラフィ（通常のマンモグラフィ）では乳腺に重なっている部分の病変の認識が困難となります。特に日本人をはじめとするアジア系の女性は、欧米人に比べて乳腺が多く、脂肪が少ない高濃度乳房が多いため、診断が難しいことがあります。¹⁾

3D マンモグラフィ（トモシンセシス）を使用するメリットは、多数の異なる方向から画像を収集することで、病変と乳腺の重なりが排除しやすくなり、見やすくなることです。実際には乳腺が重なっているだけで病変でないことの判断もしやすくなり、不要な精密検査が減少します。¹⁾



AMULET Innovality
(富士フィルムディカ社製)

病変が重なって
認識しづらい。

病変と乳腺が分離され、存在や形態が認識しやすい。
実際に病変でなく乳腺の重なりであった場合も判断しやすい。

- ① 2D マンモグラフィ+乳腺超音波検査に、3D マンモグラフィを追加することで受診することができます。 ※3D マンモグラフィ単独での受診はできません。
- ② 1度の圧迫で2D マンモグラフィと3D マンモグラフィを同時に撮影することができます。
撮影時間は2D+3Dを撮影しても約7秒で撮影が可能です。
- ③ マンモグラフィガイドラインにおいて、被ばく線量は2D マンモグラフィ撮影で3mGy以下（圧迫乳房厚42mm、乳腺組織50%、脂肪組織50%の場合）が望ましいとされています。²⁾
本装置では、2D+3Dを撮影しても被ばく線量は約1.7mGyで撮影が可能です。
- ④ 料金 2D+3D マンモグラフィ+乳腺超音波検査 11,000円(税込)
2D マンモグラフィ+乳腺超音波検査 7,700円(税込)

1) 坂佳奈子著、乳房トモシンセシスアトラス 2022. 95p

2) マンモグラフィガイドライン 第4版, 2021. p119